

無償資金協力(計20億円)によりガーナ大学医学部付属野口記念医学研究所が79年11月に新設され、80年3月からは、「下痢症と低栄養」(第4次)を、続いて86年10月から野口記念医学研究所プロジェクトとして、ウイルス学、栄養学、疫学の3分野の協力を実施し、同研究所の技術基盤整備が行われた。ガーナ政府はこれまでの協力を高く評価し、研究成果の保健医療・行政への反映と一般国民への裨益を図るため新たに技術協力を要請してきたものである。

〈目的・内容〉

感染症と免疫学の研究を強化し、感染症の重症化要因の決定とよりよい感染症対策を研究する一方、レファランスラボとしての機能付与、人材育成の場を確立する。具体的には、以下の領域において技術移転を行う。

- ①EPIワクチンの接種・効果の評価
- ②乳幼児下痢症の実態調査と対策
- ③HIV-1、2感染の実験室診断法の確立と普及、疫学的調査研究
- ④住血吸虫症の疫学・対策研究

〈現状・目標達成〉

従来の野口記念医学研究所の活動は学問分野別のアプローチが行われたが、本プロジェクトは問題解決領域別の手法をとり、よりフィールドスタディに重点を置く形で技術協力を実施する。

4つの研究テーマのなかで、AIDS部門の進捗が遅れているが、他の3つの研究部門は当初の予定どおり進んでいる。



● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-------------|-----------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| コナクリ市東部地域飲料 水供給計画 | ギニア水道公 社 | 梶谷エンジニ アリング㈱ | 93 | 19.32 | 93.6.14 | | |
| コナクリ市の東部地域において、老朽化の著しい既存配水主管と排水支管の敷設替えを行う。 | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|----------------|-------------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農業動物資源 省農業局 | (株)日本国際協 力システム | 93 | 4.00 | 93.5.21 | (資) | 93.6(契) |
| <p><中部地域農業開発支援計画> 全人口の約7割が農業に従事しているが、農業基盤が未整備であり、肥料、農薬、農業機械を導入することにより、農業生産性の向上を図り、食糧自給を目指すものである。</p> | | | | | | | |

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|------------------------|----|-------------------|--------------------|-------------|-------|
| ブスラ港動力化センター 管理訓練用機材 | 一式 | 9,878 | 水産庁ブスラ港動力化セン ター | 小規模単独機 材 | 専門家派遣 |

ギニア・ビサオ

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-------------|---------------|----------|------------|------------|---------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| ピオンボ地域生活用水供 給計画 | 天然資源工業 省 | (株)中央開発 | | | | 93.10(本) 94.3(報) | |
| <p>ギニア・ビサオ共和国首都ビサオの近郊のピオンボ地域での飲料水用の井戸210本を建設し、給水施設の整備を行う。</p> | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-----------------|-------------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農村開発・農 業省計画局 | (財)日本国際協 力システム | 93 | 2.50 | 93.6.10 | (資) | 93.7(実) |
| <p>ギニア・ビサオ東部を中心とする地帯の農地の拡大・整備などを行い、米、キャッサバなどの主要作物の増産を図る計画である。また、同地域に対し、肥料、農薬、農業機械を導入することにより、米など主要作物の生産性を向上させる。</p> | | | | | | | |

象牙海岸

● 計画・行政分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|-----------|----|-------------------|---------------------|-------------|-------|
| 環境広報教育用機材 | 一式 | 5,419 | 環境都市計画省環境局広報 教育課 | 小規模単独機 材 | 専門家派遣 |
| 環境広報教育用機材 | 一式 | 25,741 | 環境都市計画省環境局広報 教育課 | 一般単独機材 | 専門家派遣 |

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---------------------------------------|-----------------|------------------|----------------------------------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 北部村落給水計画 | 設備運輸観光 省水資源局 | (株)三祐コンサ ルタンツ | 93 (93年度 2.43) (94年度 2.94) | 5.37 | 93.6.24 | | |
| <p>象牙海岸の北部5県を対象に、ハンドポンプ付深井戸を建設する。</p> | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|-----|--|--|--|--|--|---------------------------------|
| 海洋科学技術学校設立計画 | 海運省 | | | | | | 93.9 (F/U調査) 修理班 資機材購送 |
| 1980、81、84、85年度無償協力コートジボアール海洋技術学校設立計画で供与した機材の修理・故障診断技術の指導を行い、今後の機材活用に貢献する。 | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

| プロジェクト名 期 間 | 各種チームの派遣 | | 人 数 ・ 経 費 実 績 | | | |
|---|----------|-------|----------------|--------------|-------------------|----------|
| | 年度 | 形 態 | | 専門家派遣 (人) | カウンターパ ート受入(人) | 機材供与(千円) |
| 灌漑稲作機械訓練計画 (当初R/□協力期間) 92.8.1~97.7.31 | 91 | 事前調査 | 92年度までの 累 計 | 4 | 2 | 37,889 |
| | 92 | 実施協議 | | | | |
| | 92 | 計画打合せ | 93年度 | 新規 | 4 | 20,748 |
| | | 継続 | | 5 | 2 | |

〈要請の背景〉

象牙海岸では、1991年のGDPの38%、労働人口の65%、輸出の79%を農業が占めている。国家開発5カ年計画(1991~95)のなかでも、①農業の近代化、②青年層の農村定着化、③食糧自給達成の3点が、重要な柱として位置づけられており、農業の発展は国民生活への直接的な影響のみならず、国全体の経済の安定的発展のうえからも重要である。

人口は約1200万人で年率3.7%(90年)で増加していることに加え、近年都市住民の増加などにより米の消費量が伸び、米の輸入も増大している。89年の米の生産量は、精米ベースで40万tであるのに対し、輸入量は約33万tである。このため米の増産は主要な問題であり、緊急の課題でもある。

現在、灌漑稲作は2万ha程度実施され、農業機械は88年にはトラクター2548台、耕耘機681台が使われている。しかし、農業機械の操作、保守管理、修理については、普及員と指導員が指導を行っているが、技術力が低い、指導内容が不十分であるというのが実情である。

こうした背景から、同国政府は稲作灌漑農業の機械化を推進し、農村青年の定着、労働の軽減などを実現し、米の増産に貢献することを目的に、施設と機材の整備のため無償資金協力を要請した(87年5月)。さらに農業・動物資源省食糧開発公社の普及員、指導員、中核農家、修理工を対象として稲作農業の機械化に対する知識と技術の普及のために研修を強化することを目的として、まず個別専門家の派遣を要請(89年9月)、続いてプロジェクト方式技術協力を要請してきた(90年3月)。

〈目的・内容〉

農業機械化訓練センターにおいて、カウンターパートに対し農業機械の操作、保守管理、修理、灌漑稲作の訓練を実施し、機械化灌漑稲作を推進することにより象牙海岸の米の増産に貢献する。

〈現状〉

研修の運営はほぼ適正に行われているが、専門家は新公社発足までは関連情報の整備、マニュアルの改善などを行っている。

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|---------------|--|------------|-------------------------|
| 又シ川流域農村総合開発計画 | 本計画は象牙海岸中央部東側に位置するスジ川中流域約15万haを対象として、近代的灌漑農法の導入を中心に農業生産の拡大を図るとともに、農民所得の向上、農村生活の向上を実現するため、農村総合開発計画に関するマスタープランを策定するものである。1993年度は、本格調査で、国内作業と現地調査を行い、その結果を着手報告書と進捗報告書に取りまとめ、象牙海岸側に説明するとともに中間報告書を作成した。 | 農業・動物資源省 | 太陽コンサルタンツ(株) 日本工営(株) |

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国実施機関 | 調査業務受注企業名 | 供与年度 | 金額(億円) | E/N署名日 | JICA実施業務 | |
|--|----------------|---------------|------|--------|---------|-------------|---------------------|
| | | | | | | 基本設計・資機材等調査 | 実施促進・フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農業・動物資源省食糧開発公社 | (株)日本国際協力システム | 93 | 5.00 | 93.5.19 | (資) | 93.6(契) 93.10(契) |
| <p>〈灌漑稲作強化計画〉</p> <p>本計画は、象牙海岸の中部、中北部、北西部地域における稲作振興、米の増産と安定化を課題とし、農業従事者が自分たちの協同組合を通し灌漑水田と資機材の管理運営を自身で行い、生産物の調整流通管理ができるようになること、組織ぐるみで自立した近代的集約農業を確立することをねらいとしている。</p> | | | | | | | |

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国実施機関 | 調査業務受注企業名 | 供与年度 | 金額(億円) | E/N署名日 | JICA実施業務 | |
|---|---------|-----------|------|--------|--------|---------------------|--------------|
| | | | | | | 基本設計・資機材等調査 | 実施促進・フォローアップ |
| ココディ大学病院センター拡充計画 | 保健省 | (株)梓設計 | | | | 93.8(事) 93.12(本) | |
| <p>象牙海岸で医療分野の診療、教育、研究に関する中心的な役割を果たしてきたココディ大学病院の、老朽化の進む施設・整備・機材の改善を図る。</p> | | | | | | | |

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|------------------|---|------------|---|
| ナクル市下水道施設修復・拡張計画 | 本計画はナクル市の給水施設の整備に伴う排水量増大と、現状において既設下水処理設備容量をオーバーしている部分の排水処理に対応し、ナクル湖の汚水防止を図るため、ナクル市の既存の下水道の修復と拡張計画に関するフィージビリティ調査を行うものである。 1993年度は92年度に締結した実施細則に基づいて本格調査に着手し、最終報告書をケニア政府に提出した。 | 地方自治省 | 日本工営(株) (株)日水コン |
| 道路網整備マスタープラン計画 | 本計画はケニア全国を対象として、道路網整備に関するマスタープランを策定するとともに、道路網整備のための事業計画を策定するものである。1993年度は、事前調査を実施、実施細則を締結し、また同細則に基づいて本格調査を開始し、着手報告書を作成した。 | 公共事業住宅省 | (株)パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル (株)建設企画コンサルタント |

ケニア
●
アフリカ

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国実施機関 | 調査業務受注企業名 | 供与年度 | 金額(億円) | E/N署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-----------------|---------------------------|------|--------|---------|---------------------|--------------|
| | | | | | | 基本設計・資機材等調査 | 実施促進・フォローアップ |
| 道路・橋梁機材整備計画 | 公共事業省 | (株)片平エンジニアリング | 93 | 5.47 | 93.6.28 | | |
| <p>現在実施中の第6次国家開発計画を支援するため、公共事業省が立案した第3次道路セクター計画では、既存道路の維持管理、補修、地域開発計画を推進するための道路建設などがあげられている。</p> <p>しかし道路網の現状は、維持管理不足のため経済に悪影響を与えている状態にある。また、公共事業省の保有する機材は耐用年数を大幅に超え、スペアパーツの不足と相まって非効率な使用を強いられている。本件では道路、橋梁の維持管理に必要な機材の整備を行う。</p> | | | | | | | |
| サバキ橋架替計画(詳細設計) | 公共事業省 住宅省道路局 | (株)建設企画コンサルタント 日本工営(株) | 93 | 0.33 | 94.2.2 | 93.5(本) 93.11(報) | |
| <p>地方幹線であるB8国道上に架かり、老朽化から落橋の可能性もあるサバキ橋の架替計画を作成する。</p> | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|--|------|---------------|--|--|--|---------|--|
| カプサベット市給水計画 | 水資源省 | 日本上下水道 (株) | | | | 93.6(本) | |
| <p>ケニア西部に位置するナンディ州最大の都市カプサベットにおける浄水場、取水施設、管網のリハビリ・拡張計画。1990年のフィージビリティ調査報告書によると処理水量を820m³/日から6420m³/日にする必要があるとのことである。ケニア側は最優先計画と認識している。</p> | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

プロジェクト方式技術協力事業

| プロジェクト名 期 間 | 各種チームの派遣 | | 人 数 ・ 経 費 実 績 | | | | |
|--|----------|-----------|----------------|--------------|---------------|----------|----|
| | 年度 | 形 態 | | 専門家派遣 (人) | カウンターパート受入(人) | 機材供与(千円) | |
| 園芸開発計画 (当初R/D協力期間) 85.12.4~90.12.3 (延長R/D協力期間) 90.12.4~91.12.3 (フォローアップ協力期間) 91.12.4~93.12.3 | 84 | 事前調査 | 92年度までの 累 計 | 39 | 20 | 189,707 | |
| | 85 | 実施協議 | | | | | |
| | 86 | 計画打合せ | 93年度 | 3 | 3 | 21,734 | |
| | 87 | 巡回指導 | | | | | 新規 |
| | 88 | 実施設計 | | 継続 | 2 | | 2 |
| | 89 | 巡回指導 | | | | | |
| | 90 | エバリュエーション | | | | | |
| | 91 | 巡回指導 | | | | | |

〈要請の背景〉

ケニア共和国は、外貨獲得と小農育成(国家開発5カ年計画の農業分野、二大目標)のため、1946年から換金作物としてマカダミアの導入栽培を始めたが、実生栽培であったため、収量にばらつきを生じた。これを改善するため、1977年、78年に日本から2名の専門家が派遣され、優良品種の開発が進められた。その後、本研究開発をさらに促進するため、国立園芸試験場への無償資金協力とプロジェクト方式による技術協力の要請がなされた。

〈目的・内容〉

国立園芸試験場における研究と研修活動の強化を通し、農業の多角化による小農育成を図る。
このため国立園芸試験場において次の活動を行う。

(1) 研究

- ①マカダミアの育種、栽培、作物保護、土壌・作物栄養
- ②特定果樹の作物保護と土壌・作物栄養(ケニア側の事情により、1989年の第4回合同委員会からこの項目は削除)

(2) 研修

- ①マカダミア栽培関係者(作物普及員など)に対する栽培技術と普及方法の研修
- ②研修と普及に必要な教材の開発、研修計画の作成・実施・評価

〈現状・目標達成〉

1年間の協力期間の延長後、育種・繁殖分野でさらに課題があるとして、2年間のフォローアップを実施している。

| | | | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|----|---|--------|
| ムエア灌漑農業開発計画 (当初円/口協力期間) 91.2.1~96.1.31 | 89 | 事前調査 | 92年度までの 累 計 | | 17 | 8 | 71,541 |
| | 90 | 実施協議 | | | | | |
| | 91 | 計画打合せ | 93年度 | 新規 | 5 | 3 | 90,045 |
| | 93 | 巡回指導 | | 継続 | 6 | 2 | |

<要請の背景>

ケニア政府は、第5次国家開発5カ年計画(1984~88)に引き続き、第6次国家開発5カ年計画(1989~93)においても、主要食糧の安定供給を主目標に掲げ、これを推進するため、大豆、小麦などの改良品種の導入、適正栽培技術の普及に力点を置き、諸施策を講じている。しかし、ケニアの農業はほとんど天水栽培に依存しており、気象の変化により農業生産量は年ごとに大きく変動している。このため食糧供給は不安定なものとなり、不足分については海外からの輸入に頼っているのが現状である。

このような状況下で、国家灌漑庁は主要食糧のひとつである米の増産を主目的とし、急激な人口増加に対応するためにも、灌漑面積の拡大と単位面積当たりの収量増を目指している。

88年7月、ケニア政府はムエア地区既存灌漑施設の改修などを含む無償資金協力と米の二期作導入を図るため、プロジェクト方式技術協力を要請してきた。

<目的・内容>

ケニア最大の米生産地であるムエア地区の農業開発、ひいてはケニアの灌漑水稲栽培技術の向上に貢献することを目的とする。ムエア地区で、パイロットファームを拠点に各種試験を行って圃場レベルでの総合的な技術体系を見だし、その成果をパイロットファームで実証するとともに、ケニア側技術者等への研修も含めて技術移転に努めるため、水管理、灌漑排水、水稲栽培、農業機械といった分野での技術協力を実施する。

<現状>

二期作導入を図るべく乾田耕起試験、品種選定試験に取り組んでいる。

| | | | | | | | |
|--|----|-------|----------------|----|---|---|--------|
| 社会林業訓練(II) (当初円/口協力期間) 92.11.26~97.11.25 | 92 | 事前調査 | 92年度までの 累 計 | | 1 | 3 | 18,095 |
| | 92 | 実施協議 | | | | | |
| | 93 | 計画打合せ | 93年度 | 新規 | 7 | 3 | 32,412 |
| | | | | 継続 | 1 | 3 | |

<要請の背景>

ケニアでは人口増加に伴って薪炭資源が枯渇する危機にあるため、苗木生産体制の確立と Social Forestry(住民福祉のための林業)の発展に必要な技術者養成を目的とした技術協力の要請をわが国に行ってきた。これを受けて準備フェーズを含めて7年間の協力を実施したが、ケニア政府はこの成果を一層発展させるために、さらに5年間のフェーズII協力を要請してきた。

<目的・内容>

社会林業に関する技術の発展・改良、これら技術に関する全国・地域レベルでの訓練と普及活動を通じた拡大、ひいてはケニアにおける地方住民の生活水準の向上、環境の適切な管理の強化に寄与することを目的とする。

<現状・目標達成>

準備フェーズで計画策定が行われ、これに基づく本格活動が開始された。フェーズIにおいて、森林局職員などの訓練、パイロットフォレストの造林、普及手法の開発が行われた。フェーズIIでは、フェーズIでの成果を踏まえ、アグロフォレストリーに関する訓練、造林技術の実証、普及技術の拡大などが行われている。

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-------------------------------------|-------------------|----------|------------|------------|--------------------|--------------------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 林業育苗訓練センター拡 充計画 | 研究科学技術 省 | (株)山下設計 | 93 | 16.46 | 93.12.7 | 93.5(本) 93.9(報) | |
| <p>貧しい農民層の所得向上のため、第1期プロジェクトに引き続き、ムグガ、キツイ両施設の充実および訓練を実施する。</p> | | | | | | | |
| 食糧増産援助 | 農業委員会 (大統領府、大 蔵省、農業省 より構成) | (株)日本国際協 力システム | 93 | 11.00 | 93.5.19 | (資) | 93.6(実) 93.11(実) 94.4(実) |
| <p><食糧増産計画> 第6次5カ年計画において以下の方針による食糧の国内自給を目指している。 ①農民への生産インセンティブの付与 ②農業投入財の供給確保 ③農業金融公社を通じた信用供与 ④農業教育の普及 ⑤農業研究技術開発の促進 ⑥灌漑開発の促進 ⑦乾燥地、半乾燥地の開発</p> | | | | | | | |

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概 要 | 相手国の調 査団受入先 | 調査業務 受注企業名 |
|-----------------------|--|-----------------------|-------------------------------------|
| グランドフォールズ水力 発電計画調査 | ケニア電力開発計画と同国水資源マスタープラン調査において早期実施が求められているタナ川グランドフォールズ水力発電計画のフィージビリティ調査を行う。 1993年度は実施細目に署名し、初期環境影響調査ステージを開始し、第1次現地調査を行った。 | タナ・アティ 川流域開発公 社 | 日本工営(株) (株)パスコ・イ ンターナシヨ ナル |

● 商業・観光分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概 要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|----------|---|------------|--|
| 全国観光開発計画 | ケニア政府の要請に基づき、ケニア全土を対象とした観光開発戦略を策定し、全国およびゾーン別観光開発計画(目標年次:2010年、2000年)についてマスタープランを策定するものであり、1993年度は事前調査を実施し、実施細則を締結した。また、引き続き本格調査を実施し、着手報告書、進捗報告書を作成した。 | 観光・野生生物省 | (株)パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル 日本工営(株) |

● 人的資源分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|-------------|----|-------------------|---------------|--------|-------|
| 通信技術学校訓練用機材 | 一式 | 22,754 | ケニア郵電公社通信技術学校 | 一般単独機材 | 専門家派遣 |

プロジェクト方式技術協力事業

| プロジェクト名 期 間 | 各種チームの派遣 | | 人 数 ・ 経 費 実 績 | | | |
|---|----------|-----------|----------------|--------------|---------------|----------|
| | 年度 | 形 態 | | 専門家派遣 (人) | カウンターパート受入(人) | 機材供与(千円) |
| NYS技術学院 (当初R/D協力期間) 88.1.1~92.12.31 | 84 | 事前調査 | 92年度までの 累 計 | 35 | 6 | 140,544 |
| | 87 | 実施協議 | | | | |
| NYS技術学院 (延長R/D協力期間) 93.1.1~94.12.31 | 89 | 計画打合せ | 93年度 | 4 | 7 | 53,414 |
| | 90 | 巡回指導 | | | | |
| | 91 | 計画打合せ | | | | |
| | 92 | エバリュエーション | | | | |
| | 93 | 計画打合せ | | 9 | 0 | |

<要請の背景>

ケニアは、第5次国家開発5カ年計画(1984~88)の基本政策として地域開発、人材育成を掲げているが、その一環としてNYSの強化拡充政策が計画された。本計画では、従来から実施してきた技能者養成訓練(Artisan Grade III、II、I)より上位の中堅技術者(Technician Part I、II)レベルの養成訓練を計画し、そのなかで社会的需要からみて、特に優先度が高いとみられる電気、電子、機械、建設機械整備、自動車整備の5分野について、わが国への協力要請を行ったものである。

<目的・内容>

現行制度により電気科、電子科、機械科、自動車整備科、建設機械整備科の5科について各20人、3年間(合計300人)のテクニシャンコース(I、II、III)を開設、1989年には新教育制度による初めての中等教育修了者を迎えたため、同年からはこれに合わせて改定された技術教育制度によるディプロマコースへと移行し、技術者の養成を図る計画である。

〈現状・目標達成〉

1992年6月に派遣した評価調査団の調査結果に基づき、94年12月31日まで2年間協力が延長された。

- (1) テクニシャンコース第1期生は、92年11月にパートIII国家試験を受験した43人のうち、38名が合格した。
- (2) テクニシャンコース第2期生は、92年7月にパートI国家試験が実施され、90名受験して57名が合格し、93年7月、11月にパートIIを受験した。
- (3) テクニシャンコース第3期生は、92年11月と93年6月にパートI国家試験を受験した。
- (4) 第4期生は25人が入校し、93年7月にパートIを受験した。
- (5) 第5期生は110名が入学した。

| | | | | | | | |
|---|------|-------|----------------|----|----|---------|--------|
| ジョモ・ケニヤッタ農工 大学(学士課程) (当初R/口協力期間) 90.4.19~95.4.18 | 89 | 長期調査 | 92年度までの 累 計 | 40 | 23 | 226,621 | |
| | 89 | 実施協議 | | | | | |
| | 90 | 計画打合せ | 93年度 | 新規 | 23 | 12 | |
| | 91 | 巡回指導 | | | | | |
| 92 | 巡回指導 | | | | | | |
| | 93 | 巡回指導 | | 継続 | 13 | 2 | 92,104 |

〈要請の背景〉

1980年4月から10年間にわたり、ジョモ・ケニヤッタ農工大学(JKCAT)プロジェクトで、農学部3年制3学科(園芸学・農業工学・食品工学)、工学部4½年制3学科(土木建築学・機械工学・電気電子工学)のディプロマ課程教育への協力が行われた。1988年9月にケニヤッタ大学の一分校としてユニバーシティ・カレッジに昇格したのに伴い、校名をJKUCATに変更し、学士課程への協力要請が1990年2月に提出された。

〈目的・内容〉

農学部の園芸学・農業工学(農業機械コース・農業土木コース)・食品科学ポストハーベスト学の3学科、工学部の土木工学・建築学・機械工学・電気電子工学の4学科、支援分野として理学部3学科のうち数学コンピューター学科に対し、理論・技術面を重視した学士課程を運営するために必要な人的・物的支援を行う。

〈現状・目標達成〉

90年6月大学の講師・助手レベルの採用が決定したのに続き、10月には教授・助教授の選考が行われた。また、同年10月22日から新学期が開始され、正式に学士課程が発足した。

● 保健医療分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|----------|----|-------------------|-------------------|-------------|-------|
| 集中治療室用機材 | 一式 | 9,007 | 保健省 セントラル州総合病院 | 小規模単独機 材 | 研修員受入 |

プロジェクト方式技術協力事業

| プロジェクト名 期 間 | 各種チームの派遣 | | 人 数 ・ 経 費 実 績 | | | |
|--|----------|--------|----------------|--------------|-------------------|----------|
| | 年度 | 形 態 | | 専門家派遣 (人) | カウンターパ ート受入(人) | 機材供与(千円) |
| 感染症研究対策 (当初F/D協力期間) 90.5.1~95.4.30 | 90 | 実施協議 | 92年度までの 累 計 | 52 | 12 | 207,170 |
| | 91 | 計画打合せ | | | | |
| | 91 | 機材管理指導 | 93年度 | 新規 | 4 | 33,393 |
| | 93 | 巡回指導 | | 継続 | 10 | |

<要請の背景>

85年5月より、わが国は無償資金協力で建設した中央医学研究所において、各種伝染病とりわけ下痢症の血清学的研究を推進した「中央医学研究所プロジェクト」を5年間実施した。同プロジェクトが90年4月末に終了したところ、ケニア政府は、引き続き、感染症研究対策を促進するために、本プロジェクトに対し要請してきたものである。

<目的・内容>

ケニア中央医学研究所の人材養成、適正技術の開発を通じて同国のウイルス性下痢症、ウイルス性肝炎、細菌性下痢症、寄生虫学(住血吸虫症・フィラリア症)などの感染症研究対策を進展させ、ケニア国民の健康・保健衛生の改善を図る。

なお研究所の研究成果を同国の感染症対策に反映させるため、保健省の保健医療行政との連携を目指すものである。

<現状・目標達成>

各協力分野とも、フィールド調査などによるデータの集積と分析作業が進捗中であり、今後は衛生教育方法などの他の研究成果の取りまとめが課題となっている。

| | | | | | | |
|---|-----------|-----------|----------------|----|----|---------|
| 人口教育促進(1) (当初F/D協力期間) 88.12.16~91.12.15 | 86 | 基礎調査 | 92年度までの 累 計 | 27 | 12 | 337,639 |
| | 87 | 事前調査 | | | | |
| (延長F/D協力期間) 91.12.16~93.12.15 | 88 | 実施協議 | 93年度 | 新規 | 1 | 30,138 |
| | 89 | 計画打合せ | | | | |
| | 90 | 巡回指導 | 継続 | 5 | 2 | |
| | 91 | エバリュエーション | | | | |
| | 92 | 機材管理指導 | | | | |
| 93 | エバリュエーション | | | | | |

<要請の背景>

ケニアは、2000年に人口増加率を2.5%まで引き下げることを目指し、わが国に対し家族計画分野での協力を要請してきた。

<目的・内容>

“望ましい家族規模に関する価値観”に改革をもたらすことを目指し、IEC(Information, Education, Communication)活動、つまり、啓蒙活動を強化する。この観点から、国家人口開発審議会(NCPD)の組織機能強化と同時に広報普及用メディアの開発、制作、情報伝達技術の開発を行う。

<現状・目標達成>

ケニアはIEC活動におけるハード、ソフト両面で脆弱であり、またNCPD自体も十分に機能しているとはいえない。実際にはKIMC(Kenya Institute of Mass Communication)において教材開発を行っている。

| | | | | | | | |
|--|----|------|----------------|----|---|---|--------|
| 人口教育促進(II) (当初R/□協力期間) 93.12.16~98.12.15 | 93 | 事前調査 | 92年度までの 累 計 | | 0 | 0 | 0 |
| | | | 93年度 | 新規 | 5 | 2 | 14,546 |
| | | | | 継続 | 0 | 0 | |

〈要請の背景〉

88年12月よりわが国はIEC(Information, Education, Communication)活動を通じた人口教育促進プロジェクトを実施してきたが、同プロジェクトが93年12月15日に終了したことから、ケニア政府は本事業の発展的継続を要請したものの。

〈目的・内容〉

マルチメディアにより人口関連の情報を普及させ、生活改善と家族計画を促進する。

- ①パイロットディストリクトでのAV教材利用者の需要発掘と配布・利用ルートの確立
- ②家族計画・母子保健ほか人口関係にかかわるマルチメディア教材のテーマの多様化
- ③低価格・手作り教材の利用促進の援助
- ④モデルコミュニティでのIEC活動とサービスデリバリー・コミュニティ活動との統合
- ⑤プロジェクト成果の他地域への展開

〈協力活動内容〉

- ①IEC Sub-Committeeの設立とIEC Policyの策定
- ②教材のテーマ、利用者のニーズ、ビデオ、再生機の有無などの調査
- ③マルチメディア利用のためのアクションプラン策定にかかわるワークショップ開催、利用に関するエコーセミナー・システムの導入
- ④AVバンの活用計画策定と実施
- ⑤全国放送用のテレビ・ラジオ番組の制作
- ⑥モデルコミュニティを含めたパイロットディストリクトを対象とした多様なテーマのマルチメディア教材の制作
- ⑦安価・簡便性を考慮したマルチメディア教材(フリップチャート、フォークメディアなどを含む)のニーズ調査
- ⑧同マルチメディア教材の利用促進の支援
- ⑨モデルコミュニティのヘルスセンター内セミナー活動室でのIEC活動の実施
- ⑩モデルコミュニティにおける生活改善、収入創出活動に関する試験的な住民教育の実施とモニタリング
- ⑪コスト負担能力のある他機関と提携し、パイロットディストリクト以外へ、マルチメディア教材を普及する。

● 公共・公益事業分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|--------------|--|------------|-----------------|
| アンティラナナ港整備計画 | マダガスカル北部アンティラナナ州に位置し、貨物取扱総量で第3位を占めるアンティラナナ港のマスタープランを策定し、優先プロジェクトフェージビリティ調査を行うものであり、1993年度は、92年度に引き続き本格調査を実施し、進捗報告書、中間報告書を作成した。 | 運輸・気象省 | (株)国際臨海開発研究センター |

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

| プロジェクト名 | 相手国実施機関 | 調査業務受注企業名 | 供与年度 | 金額(億円) | E/N署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-----------------|--------------------|------|--------|---------|-------------|-----------------|
| | | | | | | 基本設計・資機材等調査 | 実施促進・フォローアップ |
| 首都圏道路整備計画 | 公共土木省 | | | | | | 94.3 (F/U調査) |
| 1986年度に無償資金協力で調達された道路整備機材に関し、現況を調査のうえ、今後必要なフォローアップ内容を確定することを目的とする。 | | | | | | | |
| 南西部地下水開発計画 | 鉱工業エネルギー省 | 国際航業㈱ | 93 | 5.09 | 93.6.22 | | |
| 先に行われたフェージビリティ調査で策定された地下水開発計画に基づいて50村落を対象とした井戸掘削、給水施設建設およびこれらに付帯する機材供与を行う。 | | | | | | | |
| 北部及び南部マイクロ回線改修計画 | 郵政・通信省通信メンテナンス局 | (株)海外通信・放送コンサルティング | 93 | 5.64 | 94.1.12 | 93.9(本) | |
| 有償資金協力によって供与された国内のマイクロ基幹回線の機能回復を図るためにスペアパーツと太陽電池を供与する。 | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 総費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|---------|----|-------------------|-------------------|--------|-------|
| 種子増産用機材 | 一式 | 45,578 | CMS種子種苗生産センタ ー | 一般単独機材 | 専門家派遣 |

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-------------|---------------|----------|------------|------------|---------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| エビ養殖施設建設計画 | 漁業養殖局 | 水産エンジニアリング(株) | | | | 93.7(本) 93.11(報) | |
| エビ養殖の拡大、普及、訓練のため、北西沿岸域の沼沢地、マングローブ後背域を利用したエビ養殖場の建設を行う。 | | | | | | | |
| 食糧増産援助 | 農業・国土省 | (財)日本国際協力システム | 93 | 3.50 | 93.5.21 | 94.2(資) (現地確認) | 93.6(契) |
| 本計画は国家開発5カ年計画(1991~1995)の枠内で実施されるもので、主に農産物の質と生産性を向上させるとともに、農業生産の機械化を行い、労働力の軽減と農業普及機関の効果を高めるものである。今回要請のあった資機材は、特に人口密度が高く食料生産水準を維持する必要がある、アンタナナリボ州、アロポアイ州、フィナランツォア州を対象に、米、メイズ、マニオックなどの増産に供されるものである。 | | | | | | | |

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概 要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務 受注企業名 |
|------------|---|-----------------------|---------------|
| 南部地域資源開発調査 | 南部地域では、銅・鉛・亜鉛の鉱脈状の鉱床のほかに、風化残留鉱床、二次的漂砂鉱床が知られ、地質と鉱化作用の状況を把握することを目的としている。 1993年度は調査地域のうちトラノマロ西部地区、ソアマノンガ地区で地質調査を実施した。トラノマロ西部地区では、顕著な鉱徴の発見には至らなかったが、ソアマノンガ地区では、小規模ではあるが、局地的に高品位部が認められる鉱徴地の存在を確認した。 | 工業・エネルギー・鉱山省 鉱山地質局 | 金属鉱業事業 団 |

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-------------------------------|----------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 公共自動車整備場設立計 画 | 陸上・河川運 輸局 運輸・気象・ 観光局 | (株)石本建築事 務所 | 93 | 10.42 | 93.8.4 | 93.5(報) | |
| マダガスカルで公共輸送手段として重要な位置を占めているバスとトラックの使用効率を向上させる ために、公共自動車整備場を設立する。 | | | | | | | |

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-----------------|---------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 都市環境改善計画 | アンタナナリ ボ市衛生局 | | | | | | (F/U) 資機材購送 |
| 1987年度の無償資金協力で供与された清掃用機材などに関し、現況を調査のうえ必要なフォローアッ プの内容を確定する。 | | | | | | | |

マ
ラ
ウ
イ
●
ア
フ
リ
カ

マラウイ

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-------------|---------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| ムチンジ地下水開発計画 | 建設省水利局 | 日本技術開発 (株) | 93 | 2.37 | 93.9.17 | | |
| ムチンジ郡の住民に衛生的で安定した生活用水を供給するため、300本の井戸掘削とそのために必要な 資機材の供給を行う。なお、今回計画は深井戸給水施設110カ所の建設である。 | | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---|------------------|-----------------|----|------|--------|--------------------------------|----------------|
| リロンゲ市下水道整備計画 (詳細設計) | 地方自治省 リロンゲ市役所 | 日本上下水道 設計(株) | 93 | 0.88 | 94.2.8 | 93.5(事) 93.8(本) 93.11(報) | |
| マラウイの首都リロンゲ市における下水管と下水処理施設の新設工事を行う。 | | | | | | | |
| 道路網整備計画 | 建設供給省 | | | | | | (F/U) 資機材購送 |
| 1984年度の無償資金協力で供与した道路建設機械のスペアパーツを購送するもの。 | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|---------------------|--|------------|-------------------------------------|
| ブワンジェ・バレー灌漑農業開発計画調査 | マラウイ湖南岸に位置するブワンジェ・バレー地域内を流れるブワンジェ川、リブレジ川、ナジプール川、ナムコクウェ川の全流域、約25万haを対象に調査し、灌漑開発適地を選定のうえ、さらにそのなかから選び出される開発優先地区(約5000ha)を対象に、小規模農民の生産性と生活水準向上を目的とした灌漑農業開発計画のフィージビリティ調査を実施するものである。 1993年度はフェーズII調査を行い、灌漑農業開発計画を策定し、3月に最終報告書を提出した。 | 農業省 | 日本工営(株) パシフィック・コンサルタンツ・インターナショナル |
| コタコタ地域持続的資源管理計画調査 | コタコタ動物保護区とその周辺地域を対象に、土地利用状況、植生、野生生物、自然条件、社会経済条件などの調査を行い、周辺住民の参加を踏まえた森林と野生生物の保全を図るための持続的資源管理計画を策定する。 1993年度は、事前(予備)調査を実施し、現地踏査、資料収集、マラウイ政府受入体制の確認などを行った。 | 林業天然資源省 | |

無償資金協力事業 (JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-------------|-------------------|----------|------------|------------|-------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農業省 | (財)日本国際協 カシステム | 93 | 4.50 | 93.9.17 | 94.2(資) (現地確認) | |
| <p>農耕地の限られたマラウイにおいて、人口増加やモザンビーク難民の流入による食糧需要の増大に対応するため、ハイブリッドメイズの導入と、適時適量の施肥、農薬の使用を普及・指導することによって、単位面積当たり収量の増加を目指すものである。</p> | | | | | | | |

● 鉱工業分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|----------|----|-------------------|--------------------|-------------|------|
| 自動車整備用機材 | 一式 | 9,953 | ブランタイヤ市ワークショ ップ | 小規模単独機 材 | 協力隊 |

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-------------|---------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 医療機材整備計画 | 保健省 | (株)アイテック | 93 | 6.58 | 94.2.8 | | |
| <p>マラウイにおいては医師の数の絶対的な不足とともに、医療施設、機材が慢性的に不足している。都市部の大病院でさえ、ごく基本的な医療器具・機材を備えているところが少ない。このため同国政府は、主要病院に配布する医療資機材の調達を要請してきた。</p> | | | | | | | |

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|----------------|------------------|----------|------------|------------|---------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| ギニアウォーム対策村落 給水計画 | 資源工業エネ ルギー省 | 住鉱コンサル タント(株) | 93 | 9.21 | 94.2.9 | 93.6(本) 93.10(報) | |
| 農村部へ衛生的な水を供給し、ギニアウォーム症を撲滅するため、地下水開発を行い、給水機材などを調達する。 | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概 要 | 相手国の調 査団受入先 | 調査業務 受注企業名 |
|------------------|--|-----------------------------|-----------------------------|
| ナラ地域農業開発計画調 査 | 砂漠化が進むサヘル地域の早魃・砂漠化防止のため、住民の定着化を基本とする半乾燥地における農業開発計画を策定する。現地での実証調査によって必要なデータを蓄積するもので、実証調査に不可欠な用水を確保するため、地下水揚水用に太陽光発電システムを導入する。 1993年度は、調査全体の実施内容と手法を定めた着手報告書を作成し、93年9月から現地調査を開始し、その結果を中間報告書に取りまとめた。 | 外務省国際協 力局 農村開発環境 省 | (株)三祐コンサル タンス 日本工営(株) |

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|---------------|-------------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農業・畜産・ 観光省 | (株)日本国際協 力システム | 93 | 3.50 | 93.5.25 | (資) | |
| クリコロ、トンブクトゥ、モブティ地域などの農業生産増大のための生産手段の整備と対象作物の保護を目的とした資機材の整備計画。 | | | | | | | |

● 鉱工業分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|-------------|---|----------------|-----------|
| ブグニ地域資源開発調査 | <p>ブグニ地域では金・リチウム・ニオブ・タンタルの鉱徴地がいくつかあり、その鉱床賦存状況を把握する。</p> <p>1993年度は、地化学探査を実施した。その結果セレンゲ地区で2カ所の金地化学異常域を抽出するとともに、幅100m、延長1.4kmの砂金採掘帯を確認した。</p> | 鉱業・工業・動力省地質鉱山局 | 金属鉱業事業団 |

● エネルギー分野 ●

開発調査事業

| プロジェクト名 | 概要 | 相手国の調査団受入先 | 調査業務受注企業名 |
|-----------------|--|--------------------------------|-------------------------|
| ナラ地域太陽光発電揚水計画調査 | <p>砂漠化が進むサヘル地域の旱魃・砂漠化防止化対策を、食糧自給システム確立の一環として、半乾燥地における農業開発計画を策定する。現地での実証調査により必要なデータを蓄積するもので、実証調査に不可欠な用水を確保するため、地下水揚水用に太陽光発電システムを導入する。</p> <p>1993年度は、広域の現地状況把握のための踏査に加え、井戸調査、揚水試験、気象観測などを行い、選定したコイラ、ベルザックの2地点で、既存井戸に太陽光発電揚水システムを取りつけ、データ収集とシステムの維持管理を行った。</p> | 外務省国際協力局 鉱業・工業・動力省水利・エネルギー局 | (株)三祐コンサルタンツ 日本工営(株) |

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-------------|---------------|----------|------------|------------|---------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 中南部地方水利計画 | 水利・エネルギー省 | 日本技術開発(株) | 93 | 9.03 | 94.1.13 | 93.7(本) 93.11(報) | |
| 遊牧民の定住化などにより人口増加(流入)が著しいトラザ、ブラクナ2地方の148村落に、安全で安定的な飲料水供給のための深井戸給水施設を建設する。 | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-------------|----------------------------------|----------|------------|------------|-----------------|-----------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 沿岸漁業振興計画 | 漁業省 | オーバークシーズ・アグロフィッシュヤリーズ・コンサルタンツ(株) | 93 | 5.50 | 94.4.5 | 93.12(本) | |
| 漁具・漁法と流通の改善により、伝統漁業の中心であるマンガール地方における沿岸零細漁業の振興・開発を図る。 | | | | | | | |
| 食糧増産援助 | 農村開発省農業局 | (株)日本国際協力システム | 93 | 3.00 | 93.5.25 | (資) | 93.7(実) 94.2(長期調査) |
| 農民に必要な生産手段を与え、さらに農薬を散布することにより病虫害による生産の減少を防ぎ、農業生産の増大を図る計画である。 | | | | | | | |

● 保健医療分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|--------------|------------------------|----------|------------|------------|----------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 医療体制強化計画 | 保健・社会事 業省 | ㈱第一医療施 設コンサルタ ンツ | 93 | 4.45 | 94.1.13 | 93.4(本) (本)(国内作業) | |
| 患者と医薬品の輸送手段の確立と、医療事情の改善を目的とした車輛および医療機器の調達を図る。 | | | | | | | |

モーリシアス

● 農林・水産分野 ●

機材供与事業

| 案 件 名 | 数量 | 経費(千円) (支出済み額) | 供 与 先 | 供与形態 | 関連事業 |
|-----------|----|-------------------|--------------------|-------------|----------------|
| 養殖用飼料製造機材 | 一式 | 9,909 | 農林水産天然資源省水産研 究所 | 小規模単独機 材 | 専門家派遣 |
| 家畜衛生研究用機材 | 一式 | 6,777 | レジェイ家畜衛生研究所 | 小規模単独機 材 | 専門家派遣 研修員受入 |

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|---------------|-------------------|----------|------------|------------|--------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| アルピオン水産研究所拡 充計画 | 農業水産天然 資源省 | 水産エンジニ アリング(㈱) | | | | 94.1(本) 94.4(報) | |
| 水産業発展に必要な環境保護、管理漁業を推進するために、アルピオン水産研究所を拡張し、調査・研究機材を整備する。 | | | | | | | |

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|--|-------------|---------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| ラジオ放送網拡充計画 | ラジオ・モザンビーク | ㈱NHKアイテック | 93 | 9.73 | 93.6.15 | | |
| ラジオ・モザンビークのマトラ放送局に対して、地域ネットおよび全国ネット用の送信設備、発電機、ラジオマスターコントロール室用機材の供与を行う。 | | | | | | | |
| 道路整備計画 | 建設水利省道路橋梁局 | | | | | | 93.11 (F/U調査) |
| モザンビークにおける下記3計画の無償資金協力で調達された道路整備用機材に関し、現況を調査のうえ、必要なスペアパーツなどを購送する。 ①道路改修計画(84年度) ②ベイラ回廊道路整備計画(87年度) ③首都圏道路改修計画(88年度) | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業(JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-------------|---------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 漁船修理施設建設計画 | モザンビーク水産庁 | 水産エンジニアリング㈱ | 93 | 9.07 | 93.6.15 | | |
| 漁船の点検、修理の状況を改善し、漁船の稼働率向上による漁業生産の拡大を図るために必要な漁船修理施設を整備しようとするものである。 | | | | | | | |
| 食糧増産援助 | 農業省 | ㈱日本国際協力システム | 93 | 9.00 | 93.5.24 | (資) | |
| 政府は内戦終結後の経済再建計画の一環として、避難民の再安定化、兵士の復帰を図るとともに、小規模農業を農業の基盤として位置づけ、これらの農家に対する農業知識の普及に努め、農地の配分、種子、肥料、農薬・農業機械などの生産資機材の重点的調達などを通じ、食糧増産を進める計画である。 | | | | | | | |

● 公共・公益事業分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-----------------------|-------------------|----------|------------|------------|-------------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 低所得者住宅建設計画 | 地方自治住宅 省 | (株)日本国際協 カシステム | 93 | 3.99 | 94.4.6 | (資) | |
| <p>同国の都市周辺地域において、バラックやテント生活をする低所得者層に対する簡易住宅の建設に必要な資材を供与する。</p> | | | | | | | |
| 地下水開発計画 | 農業水資源地 方開発省水利 局 | (株)日本国際協 カシステム | 93 | 7.13 | 94.1.14 | 93.7(資) (現地確認) | |
| <p>本件はナミビアの北部地域を対象にした井戸掘削計画である。同国では水源の60%は地下水であり、本計画では1人当たり136ℓ/日の水を供給することを目的としている。</p> | | | | | | | |

● 農林・水産分野 ●

無償資金協力事業 (JICA担当分)

| プロジェクト名 | 相手国 実施機関 | 調査業務 受注企業名 | 供与 年度 | 金額 (億円) | E/N 署名日 | JICA実施業務 | |
|---|-----------------|-------------------|----------|------------|------------|-----------------|------------------|
| | | | | | | 基本設計・ 資機材等調査 | 実施促進・ フォローアップ |
| 食糧増産援助 | 農業・水利・ 農村開発省 | (株)日本国際協 カシステム | 93 | 3.00 | 93.7.5 | (資) | |
| <p>農村への肥料供給、辺境地・休閑地の開発、小規模農民の啓発などを通じて、農法の後進性、慢性的な水不足によって主要食糧の70%を輸入に頼っているナミビアの食糧自給達成を図る農業振興計画である。</p> | | | | | | | |